

第58回指定都市子ども会育成研究協議会（大阪大会）参加報告

2022/11/26(土)~27(日)

KKRホテル大阪

シニア・リーダー 高森 誠

今回初めて、指定都市の子ども会育成研究協議会に参加させていただきました。私が参加した地区推進委員会では、「コロナを理由に逃げていないか？」のテーマのもと、コロナ禍での活動状況について、政令指定都市ごとに発表をしていきました。熊本市の発表では、感染症対策を行いながら子ども会大会（フードパル熊本）や子ども会キャンプ（阿蘇青少年交流の家）などのイベントを再開することができたことや、市子協が作成している啓発資料（各単位子ども会の活動やジュニア・リーダーの活動記録など）について紹介しました。



※紹介した資料の一部

他都市では、農業体験イベントやドッジビー大会、川柳コンクール、プロギング（ジョギングをしながらゴミ拾い）などのユニークな取り組みをされていて、大変参考になりました。

コロナ禍だからといって活動を中止するのではなく、感染症対策を行ったり、従来のルールを変更したりして、子どもたちのために活動を実施されているところがほとんどでした。

また、ジュニア・リーダーの育成や人数の減少も話題の中心にあがり、子どもたちの身近なお兄さん・お姉さんであるジュニア・リーダーの存在の大切さを再認識しました。

私は、ジュニア・リーダーを育成する立場であるシニア・リーダーとして、レクリエーションゲームを教えることや、子ども会キャンプの計画や運営のアドバイスなど、私にできることを改めて頑張りたいと思いました。

大阪大会では、他都市のシニア・リーダーとも地域の現状について情報共有をすることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。こうした繋がりを大切にしていきたいです。

2日目は、天理大学の副学長、岡田龍樹先生による「地域の中で子どもを育てる」の基調講演がありました。「子ども会」の歴史や課題、役割について考えることができ、大変勉強になりました。

今回学んだことを、今後の子ども会活動に活かしていきたいと思います。

